

平年より12日早く、ニホンナシが満開

令和3年は2～3月の気温が高く推移しました。その影響で、ニホンナシ「二十世紀」の芽の動きだしが早くなり、満開期は平年より12日早い4月2日となりました。

ナシの開花期に生産者は人工授粉作業を行います。人工授粉作業は果実を確実に成らせるために必要な作業で、適期期間の短い、大変忙しい作業です

当研究所では、生産者の計画的な作業を支援するため、毎年3月、生産者の研修会において、当所観測の気象データを基にしたニホンナシ「二十世紀」の満開日予測に関する情報提供を行っています。



当研究所ナシ園の開花風景